

基本目標3 未来を創造し、生きがいにつながる生涯学習への支援

市民一人一人が生涯にわたって地域社会と関わりながら自己実現を目指す社会活動を推進します

施策1 共に学び、一人一人が輝く生涯学習の推進

□ 施策の方向

- (1) 市民の多様な生涯学習ニーズに応じた学習の機会を提供するとともに、学習内容の充実に努めます。
- (2) 生涯学習センターを中心に、各地区公民館・分館のネットワークを強化するとともに、各社会教育団体との連携を図り、「いつでも、どこでも、だれでもが学べる」環境づくりを推進します。また、NPO法人生涯学習プロジェクトもとみやと協働して、生涯学習環境の継続的な運用を図ります。
- (3) 地域に伝わる様々な魅力を学習するため、地域の人材と情報を生かし、つなげることにより、地域の伝統・文化を継承していきます。また、ふるさとに誇りを持つことにより、市民一人一人が輝きながら自己実現を目指す自主的・主体的な循環型学習活動を支援します。

□ 指標・目標値

指標	現状値（令和4）	目標値（令和10）
生涯学習講座受講生数 【市総合計画指標】	593人／年	900人程度 ／年
デジタル講座等提供回数・参加者数 【市総合計画指標】	2回 20人	30回以上 750人以上 (累計)

□ 主な取り組み

(1) 生涯学習事業（成人教育等）の充実

教養、趣味、健康などの学習を通して、知識向上と仲間づくりを目的に、心豊かに過ごせるようにするため各種生涯学習事業を実施し、生きがいづくりや豊かな人間性の醸成と資質の向上を図ります。また、市民が生き生きと自己実現するための学習ニーズに応え、その学習成果を地域の活性化につなげるために支援します。

(2) 地区公民館・分館を拠点とした地域活動の支援

地区公民館・分館において各種事業を実施するとともに、地域住民が利用しやすい環境を整えながら、公民館を地域活動の拠点として行う自主的な事業活動の支援を行います。

(3) 社会教育団体活動の支援

社会教育団体の健全な育成と振興を図り、団体が地域における役割を果たせるよう、公民館が地域のコーディネーターとして連絡調整を図り、多様な地域活動を支援します。

(4) 世代間をつなぐ学習の支援

私たちの住む地域について、子どもから高齢者まで世代を超えて聞いて見て学ぶことでつながり、地域の魅力を次世代に継承できる人材の育成を図るための事業を行います。

〈生涯学習講座〉



ブーケ織りのショール



クラフトテープで作る大きめバック



ひょうたんランプ



毎年咲かせる蘭の花



ペン習字入門



和太鼓に挑戦

□ 施策の方向

- (1) 各種スポーツ大会に参加できる環境を整備し、市民がスポーツに親しみ、健康で活力ある人生につながる生涯スポーツの推進を図ります。
- (2) スポーツ活動を推進するため、スポーツ推進委員*活動の支援に努め、地域スポーツの充実を図ります。
- (3) スポーツ協会やスポーツ少年団、スポーツクラブなどスポーツ関係団体の育成・支援に努め、生涯スポーツの推進を図ります。
- (4) 総合型地域スポーツクラブ*との連携を強化し、生涯スポーツの充実を図ります。

□ 指標・目標値

指 標	現状値（令和4）	目標値（令和10）
スポーツクラブ活動者数 【市総合計画指標】	2,061 人	2,680 人以上
市民体力テスト参加者数 【市総合計画指標】	66 人／年	100 人以上／年
スポーツ・施設利用者数 【市総合計画指標】	233,538 人／年	300,000 人／年

□ 主な取り組み

(1) 競技力の向上と各種大会の充実

もとみやロードレース大会などに積極的に参加できる環境を整備するため、各種競技の専門家を招き、小学生から成人まで継続的な指導を行うことで、選手及び指導者の競技能力の向上と育成を図ります。また、市民がスポーツに親しみ、健康で活力ある人生につながる生涯スポーツの推進を図るため、各種スポーツ大会を積極的に実施します。

(2) 地域スポーツ活動の推進

スポーツ推進委員*が地域の身近な指導者として市民に適切な指導助言を行い、個々の技術向上と体力向上の支援を行うことで、地域のスポーツ・レクリエーションの普及、振興に努めます。

(3) スポーツ関係団体の育成・支援の充実

積極的にスポーツ・レクリエーション活動を展開するスポーツ協会やスポーツ少年団、スポーツクラブなどスポーツ関係団体の育成・支援に努めます。

(4) 総合型地域スポーツクラブの育成と支援

子どもから大人まで、地域で身近にスポーツが楽しめる拠点として総合型地域スポーツクラブ*「もとみやスポーツネットワーク」を支援し、生涯にわたってスポーツが楽しめる環境づくりに努めます。



もとみやロードレース大会



少年野球教室



もとみや駅伝競走大会

施策3 「本と友だちになれるまち もとみや」を目指した活動の推進

□ 施策の方向

- (1) 読書活動を通して市民がつながり、自ら本を手に取り、読書を楽しみ、本を活用した心豊かな生活ができるよう読書環境の充実に努めます。
- (2) 市立図書館と学校図書館のネットワークシステムの積極的活用を図るとともに、図書館司書・学校司書*の連携強化による児童・生徒への読書教育の推進を図ります。
- (3) 市立図書館と読書活動団体・個人と連携した読書活動を推進します。

□ 指標・目標値

指 標	現状値（令和4）	目標値（令和10）
図書館等入館者数※1 【市総合計画指標】	56,791 人/年	63,000 人以上/年
年間の図書館資料貸出し数 ※1	143,303 冊	157,000 冊
年間の学校図書館資料貸出し数	小学校 53,478 冊 中学校 5,833 冊	小学校 58,000 冊 中学校 6,400 冊
読書支援活動ボランティア参加人数	延べ 430 人	延べ 480 人

※1 しらさわ夢図書館、中央公民館図書室、移動図書館車のそれぞれの合計数

□ 主な取り組み

(1) 読書活動の推進

各種生涯学習関係事業や乳幼児健診時の読み聞かせ、図書館・図書室におけるおはなし会などのあらゆる機会を通して、市民への読書活動の啓発に努めます。また、「本宮市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもが読書に親しむ機会を提供するとともに、家庭、地域、学校が協力し合って積極的な子どもの読書活動が行えるよう、環境の整備・充実に努めます。

(2) 学校図書館との連携による取り組みの推進

市立図書館などにおける読書活動支援ボランティアの養成を行い、学校と連携しながら、読書活動支援の充実に図り、子どもの読書活動を推進します。また、学校図書館との連携により、司書やお話ボランティアによる保育所・幼稚園・学校などでの出張おはなし会などを実施し、子どもの読書活動を推進します。

(3) 図書館ネットワークシステムの活用の推進

学校司書*を配置し、図書館・学校図書館ネットワークシステムの利用促進を図ります。

(4) 分館・移動図書館車の充実

より良い読書環境を確保するために、分館・移動図書館車の活用と機能の充実を図ります。

(5) 家庭での「読み聞かせ・読書」普及活動の推進

妊婦さん・赤ちゃんおはなし会や市の乳幼児健診時に行う「ブックスタート*事業」(3・4か月のプレブックスタート、10か月のブックスタート、1歳6か月・3歳児のブックスタートプラス)で絵本の読み聞かせや絵本のプレゼントなどを行い、家庭での読書の大切さを司書が直接伝えます。また、家族読書を普及するため「家族読書 オススメ本リスト」の更新と配布及び啓発のための各種事業を行います。

(6) 蔵書の充実と貸出・図書館利用の促進

図書館(分館・移動図書館車含む)の蔵書の充実を図り、発達に応じた適切な図書を貸出できる体制を整えます。また、図書館へ来館することが楽しみとなる企画(「スタンプラリー」「おはなし会カード」「読書の記録」など)を催して、図書館利用を促進します。



リニューアルオープニングイベント(令和5年4月)



英語のおはなし会

図書館をめいっぱい楽しもう!

図書館・図書室スタンプラリー

本宮市立図書館を利用してスタンプを集めよう。1日1回来館するごとにスタンプを押します。プレゼントもありますよ。

おはなし会カード

おはなし会に参加してスタンプを集めよう。たくさん来てくれた子には賞状やメダルなどプレゼントもあります。

読書の記録

図書館・図書室・移動図書館車で借りている本を読書の通帳に記録することができます。

この他にもオススメ本のブックリストや読書クイズ、プレゼントなど様々な企画を行っています!

施策4 学校と地域を結ぶ社会教育活動の充実

□ 施策の方向

- (1) 教育環境の充実を図るために、「地域学校協働活動事業」「体験活動・ボランティア活動支援センター事業」を活用し、家庭・学校・地域の連携を図ります。
- (2) 子どもの安全・安心を確保し、地域におけるより良い教育環境の整備を進めます。
- (3) 社会教育施設において、地域の学習資源を活用した体験や学習機会の充実を図ります。

□ 指標・目標値

指 標	現状値（令和4）	目標値（令和10）
地域学校協働本部事業*派遣件数	55 件	70 件
青少年犯罪件数 【市総合計画指標】	4 件	0 件

□ 主な取り組み

(1) 地域学校協働本部事業*の充実

地域学校協働活動を実施し、学校行事等を地域により積極的に支援します。また、体験活動・ボランティア活動支援センター事業を実施し、子どもたちに多様な学習機会を提供します。

(2) 放課後子ども教室事業の推進

地域のボランティアによる活動指導委員や安全管理員の協力を得て、放課後に学校等を活用し、子どもたちの学年に応じた活動内容を提供するとともに、スポーツ・文化などの様々な体験活動を通して、地域社会全体で子どもの育成を支援します。

(3) 青少年健全育成事業の実施

次代を担う青少年の健全な育成を図るために、地区青少年育成推進協議会や関係機関等の協力を得て、各小・中・高等学校代表による「少年の主張」の発表と記念講演等を開催し、地域と連携し青少年健全育成を推進します。

(4) 学校と地域、社会教育施設との連携

公民館や図書館、各社会教育施設を利用し、地域の魅力を伝える方々による出前講座や資料提供等を推進し、子どもたちに地域や社会について学ぶ機会を提供します。

施策5 文化や芸術に親しみ活動する機会の充実

□ 施策の方向

- (1) 市民のニーズに合った美術展や歴史、民俗等の企画展を開催し、文化意識の向上を図ります。
- (2) 市民の文化芸術活動を発表できる機会を充実させるとともに、市民の自主的な文化芸術活動ができるよう環境整備を推進します。
- (3) 市民が優れた舞台芸術に触れる機会を提供します。

□ 指標・目標値

指 標	現状値（令和4）	目標値（令和10）
文化・歴史施設来館者数 【市総合計画指標】	8,980 人/年	15,000 人以上/年
文化・芸術イベント参加者数 【市総合計画指標】	3,507 人/年	4,750 人以上/年

□ 主な取り組み

(1) 企画展開催事業の充実

誰もが気軽に文化や芸術に触れ、鑑賞し、体験できるよう様々な機会を提供し、市民の文化芸術環境を充実させます。

(2) 文化芸術活動の支援

市民自らが文化芸術活動に積極的に取り組めるよう環境整備を推進するために、文化施設の充実や指導的な人材の育成、各種団体の会員確保のための協力を行います。

(3) 文化芸術鑑賞教室の開催

市民に優れた音楽や舞台芸術に触れてもらい、文化の香り高い本宮市を目指し、幼保芸術鑑賞会、市民のための芸術鑑賞会などを開催します。



本宮市民俗芸能大会



英国自動人形展

□ 施策の方向

- (1) あらゆる世代の人々が本宮市の歴史・文化を楽しみながら学び、郷土への誇りと愛情を育めるよう、情報の発信に努めます。
- (2) 文化財や各地域に伝わる伝統行事などについて、市民共有の財産として将来に伝承されるよう、文化財調査委員会とともにその保護と活用にも努めます。
- (3) 郷土の民俗芸能等の貴重な文化遺産を保存継承している団体の活動を支援し、後継者の育成を推進します。

□ 指標・目標値

指 標	現状値（令和4）	目標値（令和10）
文化財保存団体数 【市総合計画指標】	14 団体	現状維持

□ 主な取り組み

(1) 指定文化財等の拡充

本宮市内に伝わる文化財の保存や活用のために、文化財調査委員会とともに調査を行い、新たな文化財の指定に向けて積極的な活動を行います。

(2) 文化財や史跡の保存・整備

指定文化財の保存と整備を行い、天然記念物の樹勢回復事業を実施します。また、史跡や文化財の理解と保存のために、説明板の設置や修繕を年次計画に基づき実施します。

(3) 文化財講座・見学会等の開催

市民が本宮市の魅力あふれる歴史や伝統文化を理解し、郷土への誇りが持てるような講座や講演会、見学会等を開催します。また、郷土の歴史理解のための、小学校見学授業の受け入れ体制を整えます。

(4) 文化財保存団体等への支援

伝統文化を継承しつつ、民俗芸能大会の開催をとおして、後継者育成の支援を推進します。さらに、民俗芸能の13団体と名勝保存の1団体へ補助支援を行います。

□ 施策の方向

- (1) 友好都市等の異なる文化や歴史などにふれあい、友好や相互理解を深めるとともに、多様な価値観を理解し身に付ける機会をつくります。
- (2) 他都市との交流に伴う情報発信を通じて、自分が住む地域を再認識するとともに、地域への誇りや愛情を育みます。

□ 指標・目標値

指標	現状値（令和4）	目標値（令和10）
国際理解講演会実施回数・参加者数 【市総合計画指標】	小中学生向け： 10回・540人	小中学生向け： 現状維持
	一般市民対象： 1回・11人	一般市民対象： 2回30人程度/年
英語教室等実施回数・参加者数 【市総合計画指標】	実施回数 3回 参加者数 34人	実施回数 12回 参加者数 360人程度/年
任意団体数・参加者数 【市総合計画指標】	団体数 2団体 参加者数 0人	団体数 2団体以上 参加者数 50人以上

□ 主な取り組み

(1) 国内・海外派遣交流事業（再掲）

国内の友好都市と交流することにより、本宮とは異なる文化や地域性に触れて、視野を広める機会を設けます。さらに、東日本大震災・原子力災害により「フクシマ」の名前が世界に広がる中、国際的視野の育成と英語コミュニケーション能力の伸長を図るとともに国際的に活躍する人材を育成するため、海外での体験学習の機会を設けます。

(2) 都市間交流の推進

友好都市等と、文化やスポーツなど、相互の特性を活かした交流に努めることにより、文化・スポーツの振興や健康増進を図ります。また、交流を通して、本市の文化、歴史、産業等の情報発信により、地域の魅力を改めて確認するとともに、地域への誇りや愛情が育まれるように努めます。



上尾市駅伝大会に参加した本市小学生



上尾市少年野球交流